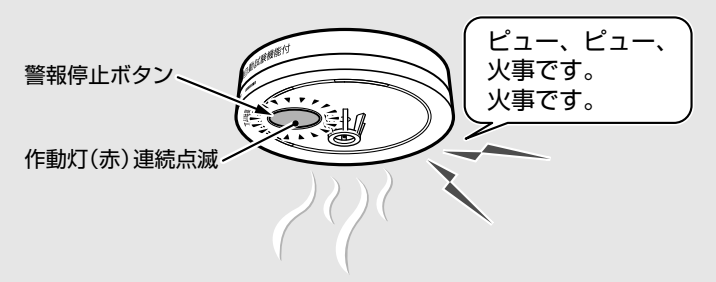


7 警報が鳴ったときは

■火災警報

熱を検知すると、火災警報動作をします。
温度が低くなると、火災警報動作は止まり、通常の状態に戻ります。



火災警報動作をしたら

火元を確認し、避難してから119番に通報するなど適切な処置をする。

火災警報音を止めるには

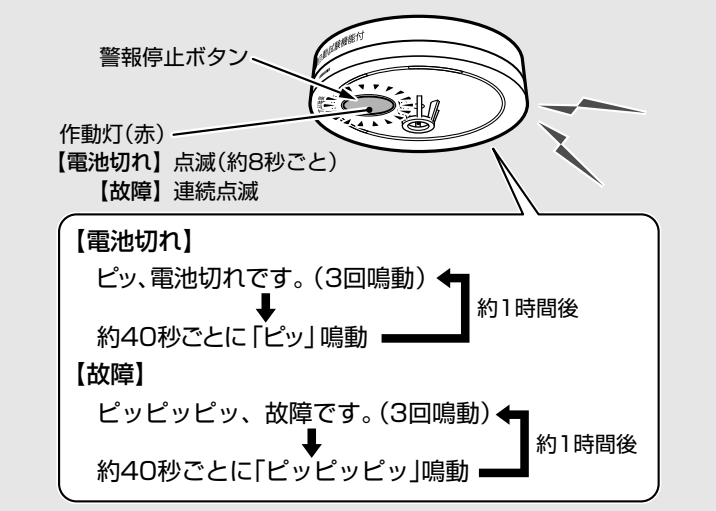
警報停止ボタンを押す。

- 約5分間、警報音が停止し、作動灯(赤)の点滅が消灯します。
- 約5分後も熱を検知すると、再び警報動作をします。
- 約5分後に温度が低くなっていれば、通常の状態に戻ります。

●温度が低くなるまで、警報動作を繰り返します。
●警報音停止中(約5分間)は、熱を検知しても火災警報動作をしません。

■電池切れ警報／故障警報

電池寿命が近づくと、電池切れ警報動作をします。また、ねつ当番は約1時間ごとに熱検知部の自動故障診断(自動試験)を行い、故障が発生すると故障警報動作をします。



警報動作をしたら

【電池切れ】の場合

- 設置後、10年未満の場合は、販売店に相談し、すみやかに新しい専用リチウム電池と交換する。
- 設置後、10年以上経過している場合は、製品本体の交換をお勧めします。(電子部品が劣化する可能性があります。)

電池切れ警報は約1週間継続します。

【故障】の場合
販売店またはご相談窓口にご相談する。

故障状態では熱を検知できないため、火災警報動作をしません。

警報音を止めるには

警報停止ボタンを押す。

【電池切れ】の場合

「ビッ、電池切れです。」が1回鳴って警報音が停止し、約16時間後に再鳴動します。その間、作動灯(赤)は約8秒ごとに点滅し続けます。

【故障】の場合

「ピッピッピッ、故障です。」が1回鳴って警報音が停止し、約16時間後に再鳴動します。その間、作動灯(赤)は点滅し続けます。

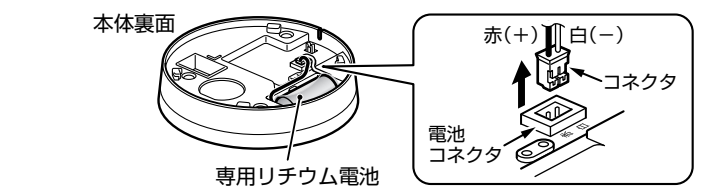
警報音が停止している16時間以内に、再度警報停止ボタンを押すと、さらに約16時間警報音は鳴りません。

専用リチウム電池の交換方法

1 本体を取りはずす。

「10. お手入れのしかた」の手順 1 参照。

2 電池コネクタからコネクタを引き抜く。



3 新しい専用リチウム電池を入れる。

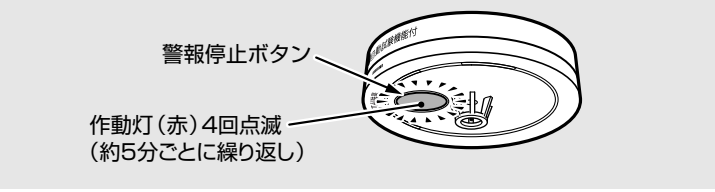
「5. 取付方法」の手順 2 参照。

4 動作を確認する。

「6. 動作確認のしかた」参照。

8 機器交換のお知らせ

ねつ当番設置後10年以上経過している場合は、作動灯(赤)が点滅し機器交換をお知らせします。



お知らせ動作をしたら

設置後10年以上経過しているため、製品本体の交換をお勧めします。(電子部品が劣化する可能性があります。)

作動灯の点滅を止めるには

警報停止ボタンを押す。

「ピッピッピッピッ、警報器の交換時期です。」が1回鳴り、作動灯(赤)が3回点滅します。機器を交換しないと、約1カ月後に再度、作動灯(赤)が約5分ごとに4回点滅します。

作動灯が消灯している1カ月以内に、再度警報停止ボタンを押すと、「ピッピッピッピッ、警報器の交換時期です。」が1回鳴り、作動灯(赤)が3回点滅します。

9 定期点検のしかた

6カ月に1回以上定期点検を行ってください。

1 熱検知部のホコリや汚れなどを確認する。

ホコリや油などの汚れ、クモの巣が熱検知部につくと熱を検知しにくくなったり、誤動作の原因となります。「10. お手入れのしかた」の手順に従って取ってください。

2 動作を確認する。

「6. 動作確認のしかた」の手順に従って、正常に動作することを確認してください。

正常に動作しない場合は

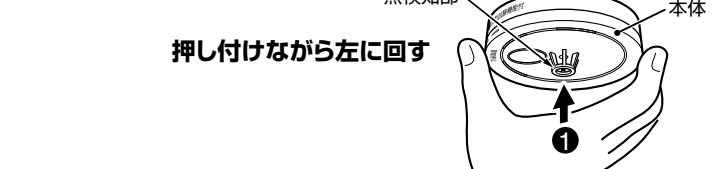
動作確認をしても警報音が鳴らないなどの異常があった場合は、「12. 異常時の点検・処置」を参照してください。

故障状態や電池切れ状態などでは熱を検知できないため、火災警報動作をしません。

10 お手入れのしかた

本体を取りはずしてお手入れしてください。また、取付部付近の天井面・壁面を掃除するときも本体を取りはずしてください。

1 本体を取りはずす。



2 汚れやホコリを取る。

水または石けん水に布を浸し、よく絞ってから汚れやホコリを取ってください。

●熱検知部を触ったり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。
●内部に水が浸入しないように注意してください。故障の原因となります。
●アルカリ性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。ねつ当番の表面にキズや割れが発生する場合があります。

3 取り付ける。

「5. 取付方法」の手順 3 参照。

●本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
●熱検知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。

4 動作を確認する。

「6. 動作確認のしかた」参照。

11 廃棄について

不要となったねつ当番や交換後の専用リチウム電池は、電池の透明フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻き、各市町村で定められた方法に従って廃棄してください。

12 異常時の点検・処置

下記の点検・処置をしても異常がある場合は、販売店やご相談窓口にご相談してください。

状 態	点 検	処 置
火災ではないのに火災警報動作をする。 または 火災警報動作が止まらない。	ねつ当番の近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか？ 熱検知部に熱などが残っていませんか？ 警報停止ボタンが押されたままになっていませんか？また引きひも(別売)がひっかかっていますか？	熱、蒸気などを取り除いてください。 熱検知部の熱をうちわなどであおいで取り除いてください。 警報停止ボタン、または引きひものひっかかりを直してください。

状 態	点 検	処 置
警報停止ボタンを押しても動作しない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていませんか？	コネクタを差し込んでください。
	専用リチウム電池が切れていませんか？ (電池切れ警報動作をしていた)	新しい専用リチウム電池に取り替えてください。 ➡7. 警報が鳴ったときは
	——	ねつ当番が故障しています。販売店にご相談ください。
作動灯(赤)が約8秒ごとに点滅を繰り返す。	警報停止ボタンを押して警報音(メッセージ)を確認してください。	警報音(メッセージ)の内容によって、以下の項目を参照してください。 ➡7. 警報が鳴ったときは ➡8. 機器交換のお知らせ
作動灯(赤)が連続点滅する。		
作動灯(赤)が約5分ごとに4回点滅を繰り返す。		
電池を接続した際に電池切れ警報が鳴る。	専用リチウム電池のコネクタが正しく差し込まれていますか？	一度、本体からコネクタを引き抜き、10秒程度待つってから、再度、コネクタを接続してください。

13 仕 様

種 別	定温式住宅用防災警報器
型 式	電池方式(DC3 V、300 mA)、自動試験機能付
使 用 電 池	専用リチウム電池 SH384552520(3 V)
電 池 寿 命	約10年(※)
警 報 音 ・ 音 声 警 報	火災警報時 ビュー、ビュー、火事です。火事です。 電池切れ警報時 「ビッ、電池切れです。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒ごとに「ビッ」(警報音)が鳴動 故障警報時 「ピッピッピッ、故障です。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒ごとに「ピッピッピッ」(警報音)が鳴動 機器交換お知らせ時 「ピッピッピッピッ、警報器の交換時期です。」※ただし、作動灯(赤)4回点滅(約5分ごとに繰り返し)時に警報停止ボタンを押した場合
火災警報音量	1 mに於て70 dB以上(検定基準)
寸 法	約φ100 mm×約36 mm(取付ベース含む)
質 量	約100 g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度	0℃～+40℃
設 置 場 所	天井面・壁面

※お客様の使用環境により、短くなる場合があります。

14 保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電 話 ()	—
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは…
「12. 異常時の点検・処置」でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用火災警報器
- 品 番
- 故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定にしたがって出張修理いたします。保証期間：お買い上げ日から本体1年間
 - 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
- 修理料金は次の内容で【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
構成されています。【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用

●補修用性能部品の保有期間【7年】
当社は、この住宅用火災警報器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、次のご相談窓口にご連絡ください。

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※下記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

住まいの設備・建材 サポートサイト http://sumai.panasonic.jp/support/	
? 使い方・お手入れなどのご相談【受付時間】365日/9:00～18:00	
パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター	
フリーダイヤル パナは ナットク 0120-878-709	■左記電話番号がご利用いただけない場合 06-6906-1109 ■FAX フリーダイヤル 0120-872-460
音声ガイダンスを聞くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「9#」を押してください。(番号を押しても案内が続く場合は、「★」ボタンを押してから操作してください。)	
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open:9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	

ライフソリューションズ 修理サービスサイト http://sumai.panasonic.jp/support/repair/	
--	--

修理に関するご相談【受付時間】月～土/9:00～19:00 日・祝日・年末年始/9:00～18:00	
パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口	
フリーダイヤル パナニ イコー 0120-872-150	■左記電話番号がご利用いただけない場合 06-6906-1090

ライフソリューションズ ハイ・パーツショップサイト https://sumai.panasonic.jp/parts/	
--	--

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命【一般のお客様用】	
パナソニック ライフソリューションズ ハイ・パーツショップ	
フリーダイヤル コーヨー パーツ 0120-055-802	■左記電話番号がご利用いただけない場合 06-6906-1224
※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただきます ※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問合せいただきますようお願いいたします。	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 ☎0120-283338 FAX ☎0120-551626
© Panasonic Corporation 2018-2019

Panasonic

ねつ当番薄型 定温式

(電池式・移報接点なし)
(警報音・音声警報機能付)
品番 SHK48155
品番 SHK48155□□□

取扱説明書

一般家庭用 屋内専用
保管用 保証書付き
施工説明付き



【機器交換お知らせ機能付】

作動灯が4回点滅したら、警報器の交換時期です。(設置後約10年)

付属品

- 取付用木ネジ(3.7×25 mm)…2本
- 専用リチウム電池 ……………1コ
- 取扱説明書(保証書付き)(本紙)…1枚

ご使用前に

- この商品は熱を検知して警報する機能をもっていますが、火災の防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。

Panasonic		出張修理
ねつ当番保証書		
本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご購入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。		
※品番	お買い上げ日から	
保証期間	本体 1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	ご住所 お名前 電 話 ()	様
※販売店	住所・販売店名 電話 ()	

パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 TEL 0120-283338(フリーダイヤル)
ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

1 安全上のご注意

■必ずお守りください

！
必ず守る

警告

取り付け・取りはずし・操作時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意する。
守らないと、転倒・落下してケガをするおそれがあります。

！
必ず守る

電池の挿入や交換、および取付用木ネジの取り扱い、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
守らないと、誤飲やケガをするおそれがあります。

！
必ず守る

注意

本体に耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

禁止

天井面に取り付ける場合は、取付ベースの真下で取付作業をしない。
ネジの締め付け時に天井材のくすが目に入るおそれがあります。目に入った場合は、ただちに洗い流してください。

！
必ず守る

付属の取付用木ネジを使用して確実に取り付け。
両面テープなどで取り付けると、商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。

！
必ず守る

天井面または壁面の野縁※など補強材のある位置に取り付ける。ベニヤ板などの薄い天井材や柔らかい天井材は、あらかじめ補強を行う。
商品が落下し、ケガや他の物品を破損するおそれがあります。
※野縁：天井などを張るため下地の骨組みとなる細長い角材

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
(リ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。

3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。

4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(リ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(二) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. 修理ご相談窓口は、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

！
必ず守る

注意

壁掛け取り付けする場合は、石こうボードの天井に取り付ける場合は、引きひも（別売）は使用しない。
引きひもを引っ張ることで本体が落下し、商品が破損したり、ケガをするおそれがあります。

2 使用上のご注意

- この商品は、法律（消防法9条2）で住宅への設置および維持について義務付けられています。維持管理のために、6カ月に1回以上定期点検を行ってください（「9. 定期点検のしかた」参照）。
- 絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- キズをつけたり、ペンキなどで塗装しないでください。
- ねつ当番は、他の部屋などで発生した熱では火災警報動作をしないことがあります。
- 日頃、人の居ない部屋に取り付ける場合は、あらかじめ警報音が聞こえることを確認してください。
- ライターなどの直火で熱検知部を温めないでください。
- 1週間以上留守にされた場合は、留守中に電池切れとなっている可能性があるため、帰宅後に動作確認を行ってください（「6. 動作確認のしかた」参照）。

火災ではないのに火災警報音が鳴るとき

下記のような場合に火災警報することがあります。

●レンジ・エアコン・ストーブなどの熱を検知した場合
➡ 警報を止めるには、十分に換気を行ってください。

3 各部のなまえとはたらき

警報停止ボタン／作動灯（赤）（通常時：消灯）
●警報音を停止させたり、動作確認に使用します。
●警報時や動作確認時に、点滅します。

取付ベース

本体

熱検知部
●熱（65℃）を検知します。

専用リチウム電池について（品番：SH384552520）

！
必ず守る

注意

透明フィルムは、専用リチウム電池を保護するものです。絶対にはがさないでください。

透明フィルム

- 電池寿命は約10年を想定していますが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。なお、電池交換後は、正常に動作することを確認してください（「9. 定期点検のしかた」参照）。

引きひも（別売）について

警報停止ボタンを押す代わりに、別売の「引きひも」を取り付けて操作することができます。手の届きにくい位置に警報器を取り付ける場合などは、販売店またはハイパーショップ（「14. 保証とアフターサービス」参照）で別途、お買い求めください。

品番：SH8894（長さ80 cm/1コ入り）

引きひも（別売）

引きひもを引くと、警報音を停止させたり動作確認ができます。

引きひも（別売）

引きひもの取り付けや取りはずしは、本体を取付ベースから取りはずしてから、以下のように行ってください。

●引きひもを取り付けるには

引きひも

ツメ

ミソ

ツメにひもを通した後、必ずミソに収める

●引きひもを短くするには

ツマミ

新しい結び目を作る

●引きひもをはずすには

上に引っ張る

！
必ず守る

注意

本体を取り付けるときは、引きひもがミソに正しく収まっていることを確認してください。取り付け後、引きひもが正しく動作しなかったり、本体を取りはずすることができなくなります。

4 取付場所

台所

市町村によっては、台所にも「けむり当番（煙式）」の設置が必要な地域があります。

！
必ず守る

注意

設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。詳しい設置場所は、当社のホームページ上でも確認できます。

サポートページ（本URLは2019年4月現在のものです）

<http://www2.panasonic.biz/ls/densetsu/ha/jukeiki/>

取付位置

本体の中心から以下の距離を確保してください。
誤動作や故障、または検知が遅れる原因となります。

40 cm以上

壁面

40 cm以上

はり

天井

可能な限り離す（約40 cm）

15 cm～50 cm

壁面

●階段や廊下などで上記の条件に即した設置が困難な場合は、所轄消防署にご相談ください。

取り付けできない位置

- 食器洗い乾燥機や炊飯器などの蒸気のかかる場所
- 取付位置の温度が0℃を下まわる、あるいは40℃を超える場所
電池電圧が低下して電池切れ警報動作をしたり、正常に動作しないおそれがあります。
- 照明器具の真上および近く
熱が照明器具に遮られるため、可能な限り（約50 cm）離してください。
- 屋外・屋側（軒先など）
- 煙突の近く、レンジ、ストーブなどの真上および近く
- 冷暖房器具の気流が当たる場所
- 階段・廊下
- 倉庫など直射日光により温度上昇のはげしい場所
- 浴室内や水がかかる場所・水滴のつく場所

5 取付方法

取り付けには、天井面や壁面にネジで固定する方法と、取り付けたネジに本体を引っ掛ける方法があります。

！
必ず守る

注意

●補強材のない石こうボードの天井や壁に取り付ける場合は、「石こうボードに取り付ける場合」を参照してください。
●取付場所がコンクリートの場合は、販売店や専門業者にご相談ください。

1 本体から取付ベースを取りはずす。

手のひらにのせて

押し付けながら回す

取付ベース

右手

！
必ず守る

注意

引っ張りながら回すとはずれません。

2 設置年月を記入し、専用リチウム電池を入れる。

！
必ず守る

注意

コネクタの接続には、ドライバーなどの工具を使用しないでください。電池がショート（短絡）したり、電池コネクタが破損するおそれがあります。
また、リード線の赤（+）と白（-）の向きを間違えないよう注意して、確実に差し込んでください。

1 設置の年月を本体側面に油性ペンで記入する。

2 コネクタを差し込んでから、専用リチウム電池（フィルムがついたまま）を入れる。

3 警報停止ボタンを押す。
電池の取り付けが正常な場合は「ピッ、正常です。」と鳴ります。

赤（+） 白（-）

コネクタ

電池コネクタ

専用リチウム電池（付属）

透明フィルムをはがさない。

電池を入れる

年 月 設置

本体裏面

3 取り付ける。

！
必ず守る

注意

●専用リチウム電池のリード線をはさみ込まないように注意してください。
●取り付け後、天井面や壁面に対して本体が傾いていないことを確認してください。傾いている場合は、本体の取付ベースへの取り付けをやり直してください。落下するおそれがあります。

天井面に取り付ける場合

1 取付ベースを取付用木ネジで取り付け。

取付ベースを天井面にあてて、ネジ止めする位置を記入すると便利です。

取付ピッチ 66.7 mm

両面テープによる取付禁止

この位置でネジ止め

2 本体を取付ベースにはめる。

3 「カチン」と音がする位置まで右に回す。
本体が取付ベースに固定されます。

壁面に取り付ける場合

取付ベースを壁面にあてて、ネジ止めする位置を記入すると便利です。

この位置でネジ止め

"UP ↑"マークを上にする

取付用木ネジ（付属）

取付ベース

両面テープによる取付禁止

取付ピッチ 66.7 mm

1 2 3

本体

ボタンが下

壁掛けの場合

！
必ず守る

注意

引きひも（別売）は使用できません。

1 取付ベースを取付用木ネジで取り付け。

手順 2 で取付ベースを取りはずしますので、強く締め付ける必要はありません。
取付ベースと取付用木ネジのネジ頭部分のすき間がない程度に締め付けてください。

2 取付ベースを取りはずす。

3 取付ベースを本体にはめ、「カチン」と音がする位置まで右に回す。

4 本体を取付用木ネジに引っ掛ける。

5 本体が確実に引っ掛かっていることを確認する。

1 この位置でネジ止め

取付ベース

2

4 取付用木ネジ（付属）

本体

ボタンが下

4 動作を確認する。

「6. 動作確認のしかた」参照。

石こうボードに取り付ける場合

市販の石こうボード用プラグ（ネジ径：3.5 mm 対応）をお使いください。

！
必ず守る

注意

不明な点は販売店や専門業者、およびご相談窓口にご相談ください。

6 動作確認のしかた

取付後などは、必ず正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、「12. 異常時の点検・処置」を参照してください。

！
必ず守る

注意

動作確認は、決してライターなどの実際の火を使わず、以下の方法を実行してください。

警報停止ボタンを約1秒間押す。

作動灯（赤）が3回点滅すると同時に、「ピッ、正常です。」と1回鳴れば正常です。

警報停止ボタン

ピッ、正常です。

作動灯（赤）連続点滅

火災警報音を鳴らして確認することもできます。

- 1 警報停止ボタンを4秒以上押し続ける。
作動灯（赤）が連続点滅すると同時に、火災警報音「ピー、ピー、火事です。火事です。」が鳴れば正常です。
- 2 警報停止ボタンをはなす。
作動灯が消灯し、火災警報音が止まります。